



公益社団法人 日本海員掖済会
長崎掖済会病院

「長崎エキサイだより」はWEBサイトでもご覧いただけます

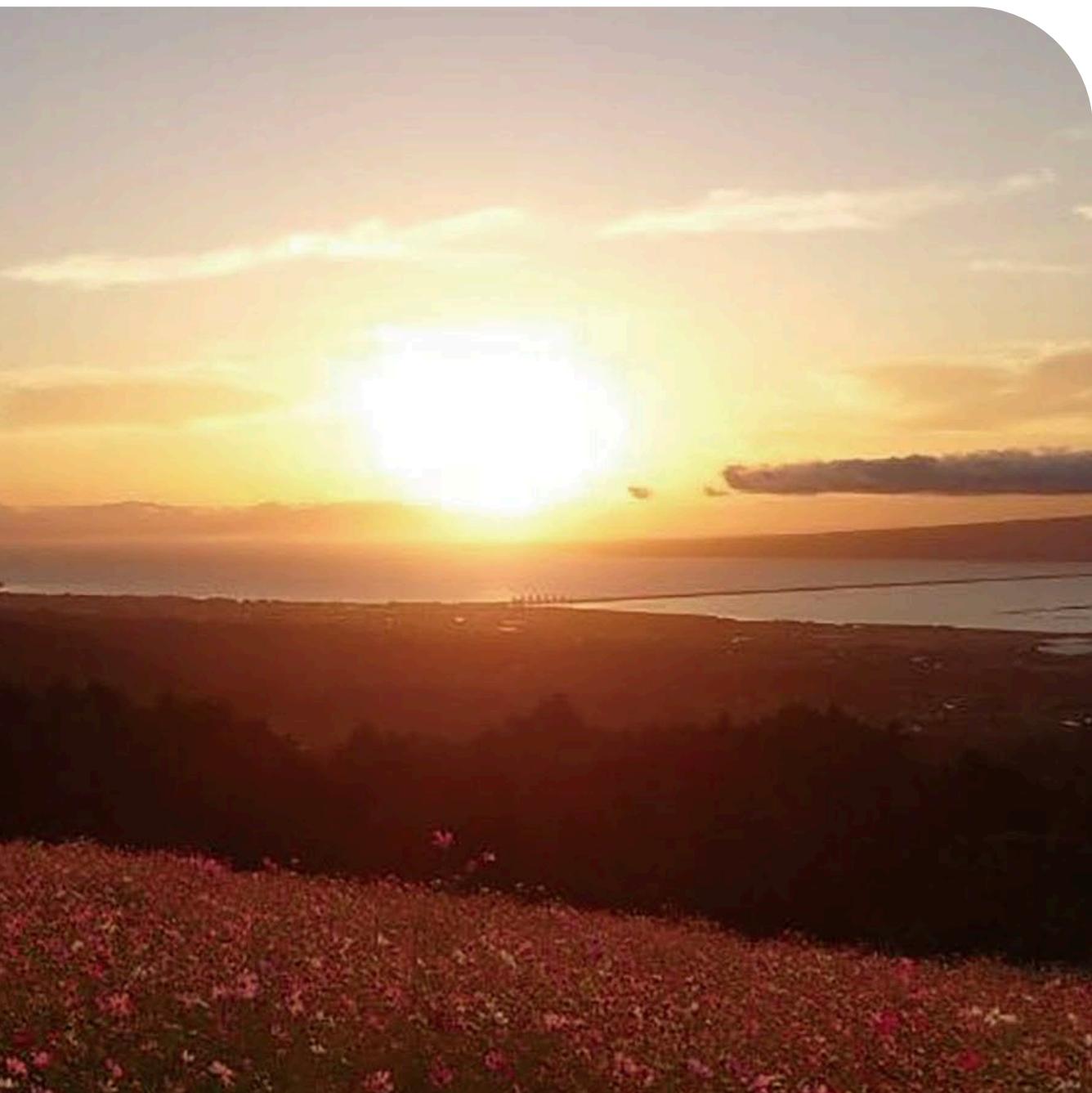


長崎エキサイだより NAGASAKI EKISAI DAYORI VOL.34

TAKE FREE

長崎掖済会病院
広報誌

「長崎エキサイだより」



CONTENTS

- 看護の原点「セル看護」の導入 P2
看護管理者研修の充実
医療安全管理者は P4
健診より・「人と人」 P5

長崎掖済会病院理念

私たちは「掖済」の心で皆様と接します。
「掖済」とは、病む人の腋(わき)に手を添えて救い導くこと

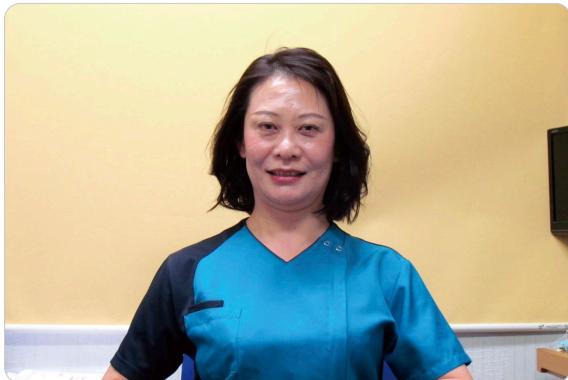
基本方針

1. 質の高い医療と人格を尊重する医療を目指します。
2. 納得のゆく説明をいたします。
3. 心休まる、安心できる看護を行います。
4. 溫かく、明るく、誠意をもって皆様と接します。
5. 職員同士、助け合い、協力하겠습니다。

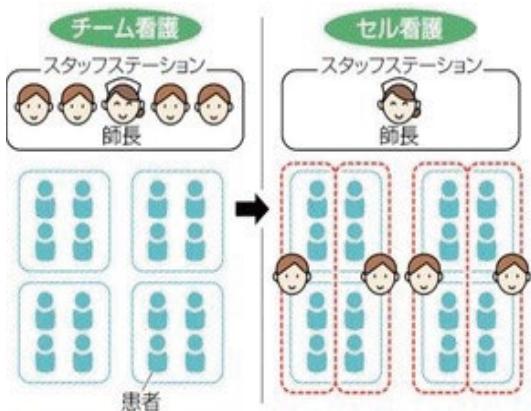


「看護の原点に立ち返る “セル看護”導入と 看護管理者研修の充実」

看護部長 高瀬 江利子



当院では、看護師が専門職としての誇りを持ち、患者さんに寄り添った看護を提供できる環境づくりを目指し、「セル看護提供方式」を導入しました。セル看護提供方式とは、3～5人程度の看護師が1つのチームを作り、特定の患者さんグループを継続して担当します。一番の目的は、看護師の「ムダな動き」をなくして、患者さんのそばで看護する時間を増やすことです。これにより、「患者さんに関心を寄せる」看護を実現します。



セル看護では、看護師が自律的に判断し、主体的にケアを行うことが求められます。導入後も、新人看護師へのOJTや、セル内での役割分担の明確化、セルごとの情報共有を通じて、チーム内の連携を強化。現場の声をもとに、業務の効率化やケアの質向上に向けた改善を行っています。

さらに、看護師長もナースカートを使用して病棟ラウンドを行い、患者さんとの関わりやトラブル解決の場面を見せてることで、実践的な学びの機会を提供しています。こうした姿を通して、看護師たちが自らの成長を実感できるよう支援しています。

プラチナナースの皆さんのおかげで、現場に大きな力を与えてくれています。認知症やせん妄を発症した患者さんへの見守りや生活支援を中心に関わっていただいている、その丁寧で温かいケアは、スタッフからも非常に好評です。現場の看護師が自分たちの専門的な業務に集中できるだけでなく、

セル看護の特徴

- ✓ ベッドサイドケアの充実
- ✓ 看護に必要な物品や薬剤を積み込んだ電子カルテ用カート(ワゴン)の使用
- ✓ 受け持ち患者数の減少

導入に向けて

- ✓ 看護師長を中心としたプロジェクトチームの設置
- ✓ 一部の病棟での試行
- ✓ 現状の把握と改善
- ✓ PCの台数増加
- ✓ 新しいナースカートの整備

プラチナナースの方々の患者さんへの関わり方を間近で見ることで、看護の本質に立ち返るきっかけにもなっています。

看護管理者研修の充実も、こうした取り組みを支える大きな柱です。管理者が看護の視点を持ち、現場を導く力を高めることで、セル看護の定着や職員の成長がより促進されます。研修では、リーダーシップやコミュニケーション、実践的な課題解決力を養う内容を取り入れ、看護の質を組織全体で高めていくことを目指しています。日頃から私が看護管理者である看護師長に伝えている言葉があります。

「楽しく働こう！」「あきらめない」「悩むくらいなら、やってみよう！」という前向きな姿勢です。看護は大変なこともあるけれど、だからこそ、私たち管理者がいきいきと楽しそうに働いている姿を見せることができ、現場の空気を変える力になると信じています。迷ったときこそ、動いてみる。

その一歩が、看護師としての成長にも、チームの活性化にもつながっていきます。

そして私自身も、看護の本質を改めて考える中で、ナイチンゲールの『看護覚え書』を読み返しました。看護学生の頃に読んだときとは違い、今回は一語一句を真剣に受け止めながら読み進め、深い感銘を受けました。看護とは何か、患者さんにとっての「最善」とは何か——その問い合わせ合う時間は、私にとっても大切な原点回帰のひとときでした。

これらすべての取り組みは、当院看護部の理念である「豊かな感性と優しさをもって、質の高い看護の提供を目指す」という言葉に根ざしています。そしてこの理念を実現するために、私たちが求める職員像は明確です。

まず大切なのは人間愛と思いやり。「病院理念・看護部理念に共感し、すべての人に思いやりを持って行動できる」ことが、看護の出発点です。さらに、看護倫理の視点からは、「看護の専門職としての自覚と責任を持ち、主体的に学び、研究視点を持ち、誠実に仕事に取り組める人材」を育てていきたいと考えています。

また、これから時代に必要なのはチャレンジ精神。「変化を恐れず、できないとあきらめるのではなく、どうすればできるのかを自ら考え行動できる人材」が、組織の未来を切り拓いていきます。そして最後に、私たちが大切にしているのがチーム医療。「患者さんにとっての最善を第一にという姿勢で、患者・家族・職場内外の医療チームメンバーと良い関係性を築ける人材」こそが、看護の力を最大限に發揮できる存在だと信じています。

特定行為看護師誕生!!

さらに、今年度は当院にとって大きな一歩となる出来事がありました。初の特定行為看護師が誕生したのです！

約1年にわたる研修を経て、現在は訪問ステーションで活躍しています。医師の包括的指示のもと、より専門的な判断と処置が可能となり、地域での看護の質をさらに高める存在として期待されています。

この特定行為看護師として活躍しているのがO氏です。当院のみなし訪問の時代から訪問看護に携わってきたO氏は、地域の患者さんやご家族との関係を大切にしながら、長年にわたり現場を支えてきました。その経験と信頼を土台に、今ではさらに専門性を高めたケアを提供しています。

この新たな力が加わることで、看護の幅が広がり、患者さんにとっての「最善」を追求するチーム医療が、さらに深まっていくと感じています。

ある偉人はこう語りました。「ここまでいけばいいのではないか」「このあたりが限界ではないか」「今さら原点に戻るのか」という声がある中でも、「ここが始まりだ」と考え直してやり直した、と。その言葉には、私たち看護の現場にも通じる深い意味があります。忙しさの中で、効率や業務の流れに追われる日々。けれど、時にふと立ち止まり、看護の本質——患者さんの生活を支えること——に立ち返ることで、私たちは新たな一步を踏み出すことができるのです。

セル看護導入という取り組みは、まさにその「原点回帰」から生まれました。患者さんのそばで、日々の暮らしに寄り添い、変化に気づき、声にならない思いを感じ取る。看護師が「生活支援者」としての役割を再確認し、チームで支え合いながら、患者さん一人ひとりに向き合う姿勢が、ケアの質を高めています。

「ここが始まりだ」——この言葉を胸に、これからも、理念に共感し、共に歩んでくれる仲間とともに、看護の原点を大切にしながら、患者さんの生活に寄り添う看護を実践していきます。



一歩ずつ、良縁とともに

看護の仕事は多くの人の出会いの中で成り立っています。患者さんとの縁はもちろんのこと、同僚や先輩、後輩との関係も自己成長に大きく影響します。

私自身も、先日の日光旅行でしっかりパワーチャージしてきました。自然の中で深呼吸しながら、良縁をお願いしてきたんです。そんな時間が、また前向きな気持ちを運んでくれました。これまで多くの良縁に恵まれ、管理者として成長することができました。人とのつながりが、私の仕事を支え、導いてくれたのだと思います。これからも、そんな良き縁に巡り合えることを願いながら、一歩一歩前に進んでいきたいと思います。

医療安全管理者



医療安全管理者は？



私は、医療安全管理者として1階の待合室の後ろにある医療安全管理室で働いております。患者さんの安全を最優先に考え、その実現を目指す態度や考え方としての「医療安全文化」を醸成し、これを医療現場に定着させていくことを仕事としております。

どんなことをやっているの？



ヒヤリハット報告・事故報告

医療の現場では、「危なかった」「もう少しで間違えそうになった」(ヒヤッとした、ハッとした)という出来事が報告されています。医療安全管理者は、これらの報告をすべて集めて、「なぜ危なかったのか?」「同じことが他の場所でも起こるのではないか?」と、原因を専門的に分析しています。この分析結果をもとに、同じ失敗をする前に仕組みや手順を改善して、事故が起らぬように対策を立てます。

現場の危険な場所をチェック

定期的に病院内全体を巡回(ラウンド)し、目に見える危険がないか、ルールが守られているかをチェックしています。例えば、病室で転倒しそうな危険な箇所がないか、医療機器の扱い方に問題がないかを確認して職員と一緒に改善できるように取り組んでいます。

その他にも、職員への研修(接遇、救命処置、医療ガスの正しい使い方)を計画し実施や院内の手順書(マニュアル)整備等を行っています。

患者さんが、安全・安心して入院生活を送れるためには、「医療安全文化」の醸成が必要です。そのため、患者さんの協力も必要不可欠になります。治療やケアに関して少しでも疑問や不安、あるいは「おかしいな」と感じたことは、いつでも遠慮なく私や職員にお声かけ、ご相談ください。皆さまの声が、病院全体の安全対策を強化する力になります。



健診は私たちにお任せください ✨

当院では、地域の皆さまの健康づくりをサポートするために、様々な健康診断を実施しています。協会けんぽの生活予防健診、企業向けの定期健診、個人で受けられる健診まで幅広く対応しており、初めての方でも安心して受診できます。健康診断は、病気の早期発見にとても大切です。症状が出る前に気付くことで、治療や生活習慣の改善につながり、健康な毎日を送ることができます。毎年の健診を習慣にしていただくことをおすすめしています。

さらに、船員の方に必要な船員手帳の交付に関する健診も行っており、手帳を即日でお渡しできる体制を整えています。

お仕事の都合で時間が限られている方でもスムーズに手続き出来ますので、ぜひご相談ください。

受診は予約制のため、健診当日に医師からの結果説明もしっかりと行い、必要な場合は当日でも当院外来への受診や専門医療機関への紹介も可能です。気になる事や不安な点があれば、遠慮なくお尋ねください。ホームページから予約を受け付けております。

地域の皆さまが安心して暮らせるよう、健康管理を全力でお手伝いいたします。ご予約やお問い合わせを心よりお待ちしております。健康を守る第一歩として、当院の健診をご利用ください。



今回の「人」は
柳原さん



検査部で生理検査を主に担当しています。色々なことにチャレンジすることが好きで、家でじっとしていることが苦手です。今までにヨガ、水泳、ハイキング、ワインテイスティング、スキーバダイビング、海外旅行などなど挑戦しました。まだまだやってみたいこと、行ってみたい所がいっぱいあるのですが、コロナ禍で活動が制限されていたのでここ数年はさすがに大人しくしていました。やっと日常に戻ってきたところで、まずは買ったばかりのミラーレスカメラを持って、大好きな沖縄の離島めぐりをしようと思っています。

次は看護部の方を紹介します。

次の「人」は
高橋さん



to be continued



診療担当表

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	加来	岩見	福島	三浦	原	加来	岩見	大園	若松	加来
	松尾	大園	岩見	加来	酒匂	泉田真生	松尾	大園恵介	泉田誠也	三浦
	三浦		内田智久		岩見	第1・3週：本田	大園		竹本	
			小笠 第4週：山梨		奥野		別府			
外科	中崎		中崎		中崎		中崎		中崎	
整形外科	末広		今村		未広	末広 (予約)	今村		末広	
	朝長	休診	内田 (予約)	休診	朝長		内田	休診	内田	休診
	高木						朝長		高木	
皮膚科	一ノ宮	(予約)	西本	(予約)	一ノ宮	休診	一ノ宮 (再診のみ)	休診	西本	(予約)
泌尿器科	草場		草場		休診		草場	休診	草場	
麻酔科	休診		休診		山口	休診	休診		山口	休診
脳神経外科	休診		休診		休診		休診	大園恵介	休診	

【外科】午後は手術の為、診察できない場合があります。お問い合わせください。

【皮膚科】午後からは予約のみの診察となります。

企業健診、特定健診、協会けんぽ生活習慣病予防健診、人間ドック、脳ドックなど、さまざまな健康診断を予約制にて行っております。お気軽にご相談ください。詳細は病院ホームページか電話でお問い合わせも可能です。

診療のご案内

受付時間	午前 8:00~11:30	午後 13:00~16:30
診療時間	午前 8:40~12:00	午後 13:00~17:00
休診日	土曜、日曜、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）	

※但し、急患の方は何時でも診察いたします。

ご面会の方へ

面会時間	14時～18時、30分以内
面会人数	原則2名まで

感染対策として、マスク着用および体温測定にご協力をお願いします。



受診される方へ

発熱等の症状がある場合は
来院前に必ずお電話ください。



はじめて受診される方へ（お持ちいただくもの）

- マイナンバーカードもしくは健康保険証等
- 紹介状(他医院からの紹介の方) ■お薬手帳

再診の方へ（お持ちいただくもの）

- 診察券 ■お薬手帳
- マイナンバーカードもしくは健康保険証等
※毎月初回受診時



公益社団法人 日本海員掖済会
長崎掖済会病院

〒850-0034 長崎県長崎市樺島町5番16号

TEL 095-824-0610

FAX 095-822-9985

mail info@ekisaikai-nagasaki.jp

WEB <https://ekisaikai-nagasaki.jp/>



WEBサイト